

2017年6月14日

地盤事故ゼロを目指す「SDS[®]試験」が実績25万棟を達成 ～土質が分かる次世代の地盤調査 新たな技術審査証明も取得～

戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：斉藤武司）が開発・普及を進める地盤調査試験法「スクリーンドライバーサウンディング試験（SDS[®]試験）」の調査実績が、2017年5月末時点で25万棟を達成しました。

SDS試験は、地盤調査・解析130万棟超の実績を持つジャパンホームシールドが、地盤事故ゼロを目指して開発した地盤調査方法です。現在主流のスウェーデン式サウンディング試験（SWS試験）が地盤の構成を音や感触を頼りに判別しているのに対し、SDS試験は、回転トルク値などのデータを総合的に分析することで、より正確な土質判断が可能になります。2010年10月の提供開始以来、大手ハウスメーカーなど多くのお客様に高い評価をいただき、2017年5月末時点で実績25万棟を達成しました。



近年では、SDS試験の測定結果を実務に用いる際の技術についても研究が進み、活用の範囲がさらに拡大。地盤の強さを表す支持力 q_a を、SDS試験でロッドを貫入する際の先端抵抗 q_t を用いて推定する技術は、2017年2月に一般財団法人ベターリビングの技術審査証明を取得しました（BL審査証明-027）。今後もさらなる技術の向上により、地盤事故ゼロに向けた活用が期待されます。

ジャパンホームシールドでは今後も、SDS試験をはじめとする優れた技術とサービスを通じて、世界中の人々の豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03-5624-1545

※このニュースレターは、ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）のホームページで発表しています。

<ジャパンホームシールドはLIXILグループの一員です>

<参考資料>

■SDS®試験の歩み

2006年6月	東京都市大学、日東精工(株)と共同研究を開始
2010年10月	SDS試験のサービス提供を開始
2011年2月	「SDS試験装置」で(一財)ベターリビングより「建築技術審査証明」取得 (BL審査証明-008)
2013年7月	ニュージーランド・オークランド大学と共同研究を開始
2013年12月	「SDS試験による地盤調査結果の活用技術」で(一財)ベターリビングより 「先端建設技術・技術審査証明」取得(BL審査証明-011)
2014年11月	実績10万棟突破
2015年11月	実績15万棟突破
2016年5月	タイ・カセサート大学と共同研究を開始
2016年9月	実績20万棟突破
2017年2月	「SDS試験を用いた平板載荷試験結果による q_t の推定方法」で(一財)ベターリビングより「先端建設技術・技術審査証明」取得(BL審査証明-027)
2017年3月	マレーシア工科大学と共同研究を開始
2017年5月	実績25万棟突破

■ SDS試験について

従来の測定データに加え、回転トルク値などのデータを総合して分析することで、より正確な土質判断ができる次世代の地盤調査方法です。小型の調査機を用いるため、大がかりな試験機を必要とするボーリング調査に匹敵する高精度ながら、コストを抑えられるのも特長です。

2010年の提供開始以来、認知度が高まっており、SDS試験に関する論文が国内外で多数発表されています。また、優良な住宅部品の認定を行う一般財団法人ベターリビングより「先端建設技術・技術審査証明」を取得するなど、公的機関にも高い性能が認められました。



SDS試験 調査機械

■SDS®試験の特許登録

特許番号	登録日	発明名称
4705520	2011/3/18	貫入試験方法
5173731	2013/1/11	貫入ロッド、並びにこれを用いた貫入試験機及び貫入試験方法
5291329	2013/6/14	貫入試験方法
5320081	2013/7/19	貫入試験方法
5385771	2013/10/11	貫入ロッド

特許権者：ジャパンホームシールド株式会社、末政 直晃（東京都市大学）、日東精工株式会社